

第60回

令和8年4月 発行

長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

特別調査 中小企業経営者のライフデザイン

長岡信用金庫 総合企画部

TEL (0258) 36-4344

<https://www.shinkin.co.jp/nagaoka/>

【実績】令和7年10月～令和8年3月

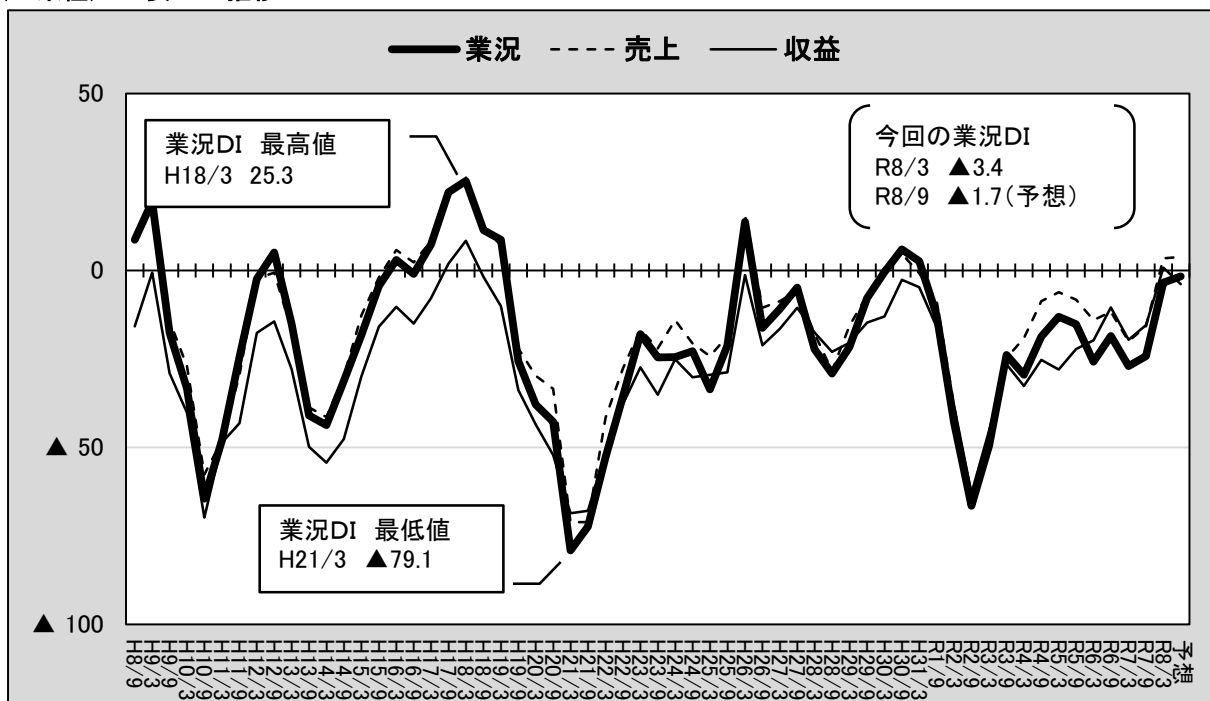
【予想】令和8年4月～令和8年9月

業種全体において、業況、売上、収益ともに改善
 経営者を引退した後の生活資金について「十分だと思う49.1%」、「まだ不十分だと思う28.1%」
 2026年度中に賃金を「上げると回答した先は73.1%」、「上げないと回答した先は26.8%」

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 24.2	20.8 (改善)	▲ 3.4	1.7 (改善)	▲ 1.7
売上	▲ 15.8	19.2 (改善)	3.4	0.5 (横這)	3.9
仕入価格	58.6	6.7 (悪化)	65.3	-1.3 (改善)	64.0
販売価格	36.7	3.2 (改善)	39.9	0.4 (横這)	40.3
収益	▲ 15.4	16.2 (改善)	0.8	-4.7 (悪化)	▲ 3.9
在庫	1.3	0.5 (横這)	1.8	-1.8 (改善)	0.0
受注残高	▲ 11.0	7.3 (改善)	▲ 3.7	1.5 (改善)	▲ 2.2
資金繰り	▲ 15.4	-0.8 (横這)	▲ 16.2	1.8 (改善)	▲ 14.4
人手	▲ 38.7	1.5 (改善)	▲ 37.2	-5.1 (悪化)	▲ 42.3
設備状況	▲ 12.7	3.5 (改善)	▲ 9.2	-4.3 (悪化)	▲ 13.5

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

業況、売上、収益ともに改善

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 33.3	25.6 (改善)	▲ 7.7	8.8 (改善)	1.1
売上	▲ 22.2	22.2 (改善)	0.0	3.3 (改善)	3.3
収益	▲ 23.3	21.1 (改善)	▲ 2.2	-3.3 (悪化)	▲ 5.5

(建設業)

業況、売上、収益ともに改善

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 11.5	20.9 (改善)	9.4	-5.7 (悪化)	3.7
売上	▲ 7.6	20.8 (改善)	13.2	-3.8 (悪化)	9.4
収益	▲ 1.9	16.9 (改善)	15.0	-7.5 (悪化)	7.5

(卸売業)

業況、売上、収益ともに改善

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 38.8	22.2 (改善)	▲ 16.6	16.6 (改善)	0.0
売上	▲ 22.2	11.1 (改善)	▲ 11.1	5.6 (改善)	▲ 5.5
収益	▲ 38.8	27.7 (改善)	▲ 11.1	11.1 (改善)	0.0

(小売業)

業況は改善

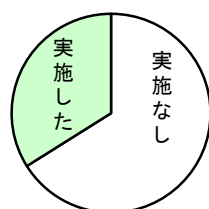
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 32.2	7.2 (改善)	▲ 25.0	-3.1 (悪化)	▲ 28.1
売上	▲ 16.1	0.5 (横這)	▲ 15.6	-3.1 (悪化)	▲ 18.7
収益	▲ 9.6	-6.0 (悪化)	▲ 15.6	-12.5 (悪化)	▲ 28.1

(その他)

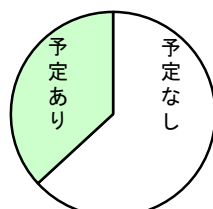
業況、売上、収益ともに改善

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 5.5	19.3 (改善)	13.8	-8.3 (悪化)	5.5
売上	▲ 8.3	30.5 (改善)	22.2	0.0 (横這)	22.2
収益	▲ 8.3	16.6 (改善)	8.3	-5.6 (悪化)	2.7

(全業種) 設備投資の実施と予定

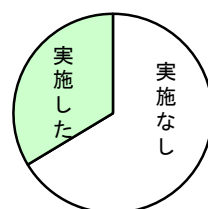


実施した
33.9%

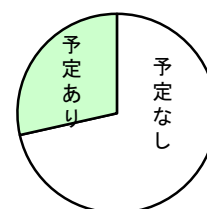


予定あり
36.8%

(全業種) 借入の実施と予定



実施した
33.6%



予定あり
28.5%

【業種別】 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	15.8%	16.1%	14.5%	12.5%	20.0%	14.7%
人手不足	15.5%	13.1%	23.3%		11.7%	18.1%
同業者間の競争激化				12.5%	11.7%	
利幅の縮小						
材料価格の上昇	14.5%	12.3%	22.6%	16.6%		
人件費の増加					11.7%	13.6%
仕入先からの値上げ要請				12.5%		

【業種別】 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	20.0%	22.4%	15.8%	23.8%	21.2%	16.2%
経費を削減する	17.1%	16.7%		21.4%	20.0%	20.0%
情報力を強化する			15.0%		15.0%	
人材を確保する	19.0%	17.6%	29.3%	11.9%		16.2%
技術力を強化する						

【業種別】 調査員のコメント

【製造業】

- ・製品の納入先が外食産業が多く、消費税減税が外食産業の投資控えに繋がらないか心配している様子であった。
- ・電気自動車の不人気でハイブリッド車の製造が各メーカー旺盛になっており、良い影響を受けている。
- ・パワー半導体の需要増加が見込まれ業況回復見込み。残業で対応しているが、従業員の疲労の蓄積にも考慮。
- ・年明けから徐々に仕事が出始めてきた。以前より短納期の特急案件を断ることなく受注してきたことで、取引先からより金額の規模が大きい案件の話がくるようになってきている。
- ・全国的に各種イベントが増加し、需要が増加した反面、学校関係の受注が大幅に減少している。
- ・外国人労働者を採用したところ非常に優秀で全体の作業能率向上に参与。
- ・最終ユーザーがメーカー等に分散しており業況は比較的安定。中東問題で原油が上昇し影響が出ないことを願う。
- ・効率化のためにAIの導入をしなければならないと考えており、見積り作成、検品作業のところを改善したいと話す。
- ・自社にてDX課を立ち上げ、レポート品のレシピ化や工程進捗管理等行い、作業効率向上目指し努力している。

【建設業】

- ・建設費用が上昇しているため、個人の住宅建築への意欲が低下している。実質賃金が早く上昇することを望む。
- ・官公庁の工事は社会の賃上げの流れを汲んで上昇傾向。しかし仕入単価も上昇しており、慎重に積算している。
- ・今冬は降雪による雪害住宅が多く春先から受注は多い。単なる修理にとどまらず、リフォーム、建替えに繋がりたい。
- ・資材価格の上昇より、見積りに合わない工事が出てきており、粗利確保できる仕事を選び人員を多く投下している
- ・県外受注含め公共工事、民間工事ともに順調に推移している。建築価格高騰による工事の取りやめや延期等はみられず、逆に今後の更なる建築費上昇を見据え受注が増えたのではないかと話す。

【卸売業・小売業】

- ・物価高の影響もあり、顧客の家電購入意欲も停滞。月1回売出イベントを行う等努力するが、売上は伸び悩む。
- ・取引先の分散で景気の波の影響は受けにくい。中東問題が取引先に影響を与えるのは必至で、不安要素は残る。
- ・長岡市内鉄骨関係の業況悪く、設備投資も少ないが医療関係の受注も含めると全体ではやや回復傾向。
- ・材料の銅が4、5年前より倍に値上がっており、仕入のタイミングや資金コストをよく考えて調達している。
- ・今冬大雪だったが、灯油の注文は減り売上減少。要因は電気製品のシェアが広がり、利用者自体が減少している
- ・飲食部門において材料高騰分を価格転嫁しているが、大幅な値上げは客離れを引き起こすことから慎重な姿勢。

【その他】

- ・物価高騰の影響で住宅新築需要が減少し土地の売買は鈍かったが、来期分譲予定地は予約時点で完売した。
- ・材料価格は上昇が続き、経営上の重要課題になっているが価格交渉は順調に進んでいる。柏崎原子力発電所が再稼働するにあたり、生コン、骨材の売上が大幅に伸びてきている。
- ・入居率が安定しており業況安定。建築価格が上昇していることで中古物件の需要が増加。
- ・運賃改定により客単価は上昇したものの、乗務員不足により売上機会を損失していることが多いとのこと。

特別調査 「中小企業経営者のライフデザイン」

問1

社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していられっしゃいますか。1～5の中からお答えください。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を下記の6～0の中からお答えください。

【10年先の自社の経営展望】		【社長（代表者）の年齢階層】	
1. 事業拡大	28.0%	6. 20歳代、30歳代	3.0%
2. 現状維持・横ばい	49.1%	7. 40歳代	16.7%
3. 事業縮小	5.7%	8. 50歳代	32.5%
4. 廃業・事業譲渡予定	4.3%	9. 60歳代	29.0%
5. わからない	12.7%	0. 70歳代以上	18.5%

問2

社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は1～6の中から、そうでない方は7～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

【具体的な年齢の目途がある】		【具体的な年齢の目途はない】	
1. 60歳未満	3.5%	7. 健康が続く限り生涯現役	17.1%
2. 60～64歳	5.7%	8. 後継者に託せるようになるまでは現役	32.8%
3. 65～69歳	13.1%	9. 生活資金の見通しがつくまで現役	0.4%
4. 70～74歳	14.4%	0. まったく考えていない	8.3%
5. 75～79歳	3.0%		
6. 80歳以上	1.3%		

問3

社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

【十分だと思う】		【まだ不十分だと思う】	
1. 貯蓄・資産がすでに十分にある	16.2%	5. 貯蓄・資産が十分ではない	15.8%
2. 会社からの退職金が見込める	9.2%	6. 会社からの退職金が見込めない	2.2%
3. 年金・保険が見込める	7.9%	7. 年金・保険が見込めない	0.9%
4. 何とかなる	15.8%	8. 何となく不安である	9.2%
9. まだ考えていない	21.1%	0. 引退しない	1.8%

問4

社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていられっしゃいますか。下記の1～0の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。

1. 預貯金(円貨)	32.0%	6. 不動産	7.0%
2. 外貨預金	2.1%	7. 個人年金保険	12.4%
3. 債券(国債・社債等)	0.9%	8. 共済等その他保険商品	8.8%
4. 投資信託	17.5%	9. 仮想通貨	0.0%
5. 株式	11.2%	0. 何もしていない	7.7%

問5. 特別設問

貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む）しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合はその理由について5から0の中から1選んでお答えください。

【引上げ】		【引上げない】	
1. 0%以上2%未満	22.5%	5. 賃上げに見合う価格転嫁ができてない	4.4%
2. 2%以上4%未満	35.2%	6. 同業や同地域内の他社が上げていない	0.0%
3. 4%以上6%未満	14.5%	7. 今後の業績見通しが不透明	7.0%
4. 6%以上	0.9%	8. 売上の低迷や伸び悩み	4.8%
		9. これまでに賃金を引上げ済み	7.0%
		0. 自社に従業員はいない(家族経営など)	3.5%

調査要領

調査時点：令和8年3月
 調査方法：当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査
 対象期間：【実績】令和7年10月～令和8年3月 【予想】令和8年4月～令和8年9月
 調査地域：当金庫営業地域(長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市)
 調査先：229先(回収率100%)
 分析方法：各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。